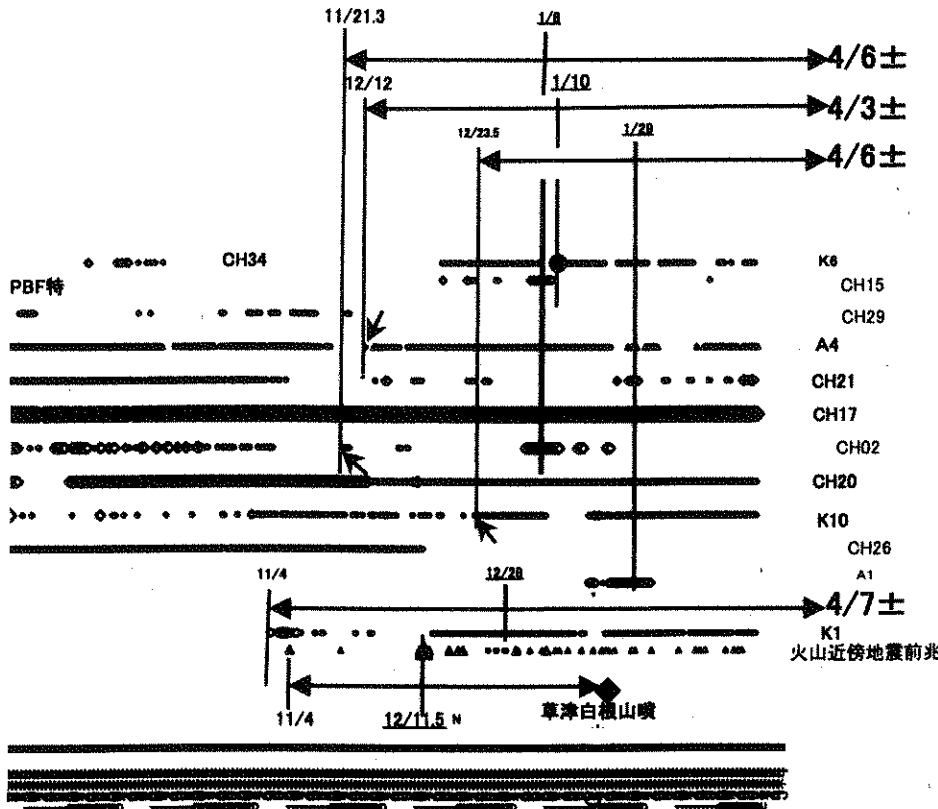


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 前兆継続状況から3月中の発生の可能性否定
第24ステージが示す時期=早い場合でも4/6±に修正



No.1778長期継続特殊前兆の現況報告続報です。

前回の報告では、今月26±に前兆終息が観測された場合は、3/7±を示す可能性も示唆されました。誤差を含め今月末まで前兆が終息しない可能性もあります。しかし、左図のとおり、多数の前兆が継続出現中であり、本日までの前兆出現状況を鑑み、さらに各前兆の初現～極大の関係を見直した結果、早い場合でも4/6±2 時期の可能性が考えられ、それ以前つまり03月末迄に発生する可能性は考えにくい見解となりました。

前回迄の前兆初現～極大の関係の認識は明らかに間違っていたこととなります。申し訳ございません。通常の地震前兆と異なり、長期間、次々と前兆が重複出現しているため、明確に初現～極大が認識しにくい状況であることが原因です。

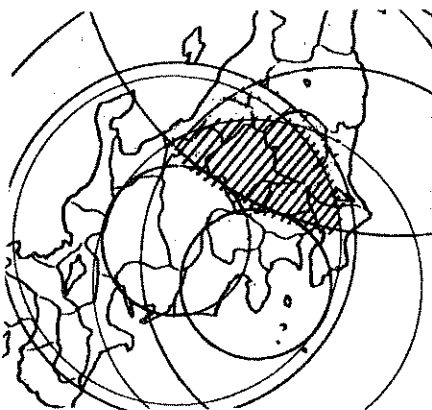
CH21の特異は最終極大認識の1/29より5.2日±周期で出現しており、BTの周期性経験則が使用できる可能性もあり、注目しております。

1/29が最終極大である場合は02月下旬迄、前兆が継続出現することとなります。今後の変化に注意して、検討を重ね続報でご報告予定です。

長期化しておりますが、別地震前兆を正しく識別し、予報できる様に努力しております。

2017年9月 2017年10月 2017年11月 2017年12月 2018年1月 2018年2月 2018年3月

※本HPはPHP新書「地震予報」で記したNo.1778長期継続前兆の続報のみで、他の地震前兆や予報については、E-mail及びFAXで日々配信しております。地震前兆検知観測情報のみでしか報告しておりません。ご了承下さい。是非地震前兆検知観測情報配信の公開実験にご参加下さい。



上図は影響局誤認の場合の推定領域図
但し、不整合な前兆が複数あるため、可能性は低い見解。あくまでも参考。

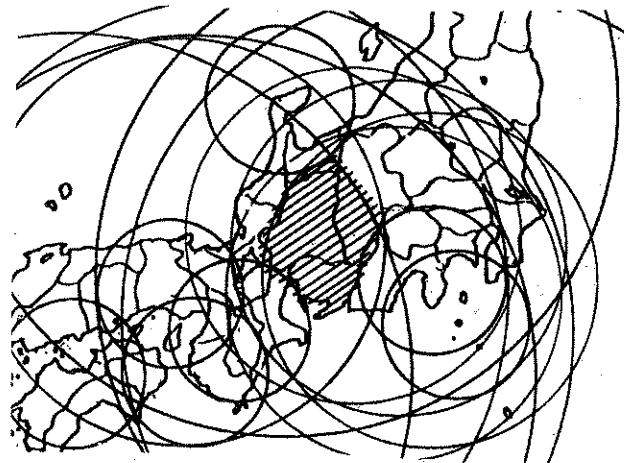
●推定領域: 右図斜線域内
影響局誤認の場合は左図

●推定規模: M7.8±0.5

●推定時期: 前兆終息後
計算予定

○地震種: 震源浅い陸域
地殻地震

○推定発生時刻: AM 9:00±1
(又は PM 6:00±3)



現状考えやすい推定領域図